

蔭山克秀先生



経済

茂木 誠先生

島田裕巳先生

豪華講師陣
による
集中講義！

変化に強い女になる！

ポストコロナ時代に 役立つ教養10

新たな感染症により、地球規模の大変革の時代に突入した2020年前半。

感染予防のため「外出がままならない」「人と会えない」と嘆かず、
ピンチをチャンスに変えよう！

そこで、20年の後半から次の10年に向けて、PW世代こそ身につけておきたい
教養10分野を選出、豪華講師陣による夢の講義が実現！
教養ある女性こそ、ポストコロナ時代をきっと生き抜けるはず——。

国際情勢



ガイダンス

森本あんり先生

奥山真司先生

中原 淳先生

ガイダンス

Time Schedule

ガイダンス

1時限目

経済

Economy

2時限目

歴史

History

3時限目

マネー

=特別講義あり=

Money

4時限目

IT

Information Technology

5時限目

哲学

Philosophy

6時限目

SDGs

Sustainable Development Goals

7時限目

政治学

Politics

8時限目

国際情勢

International situation

9時限目

宗教

Religion

10時限目

リーダーシップ

Leadership

ホームルーム

課外授業

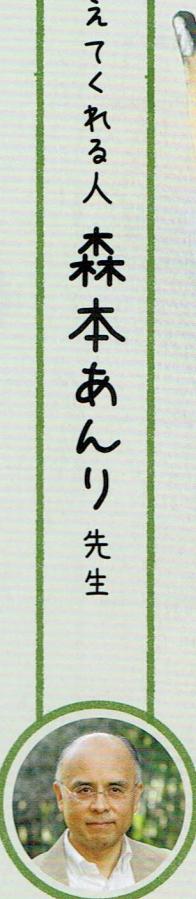


大転換の時代、 10年後のキャリアを 支える教養とは

変化の激しい時代だからこそ、企業も生半可な専門知識や戦略だけではなく、本質的な人間力を求めている。まさに、「答えのない問題に取り組む時代」が始まった。

ガイダンス

教えてくれる人 森本あんり 先生



「現代の多くの問題の裏には歴史、宗教、哲学などが複雑に絡み合っている」

21世紀に入り、世界は多くの危機に直面しました。解決の行方が見えない問題も多く抱えています。原発事故やパンデミック、経済不況は、どんなに科学技術が進歩しても、人間が自然や社会を合理的に設計してコントロールすることはできない、ということを教えています。戦後のがむしゃらな経済成長期を過ぎた今、個人も社会も、もう少し成熟した教養を求める時代になってきていると思います。

特に今回の新型コロナウイルス問題では、個々の「専門知」では対応しきれない複合性が明らかになりました。医療や経済にはそれぞれ専門家がいますが、リーダーの役割は、それらの人々の意見を聞いたうえで、総合的な判断をすることです。これ

は、会社などの組織でも同じです。会社員、フリーランスなど、さまざまな形態でキャリアを積んでいるビジネスパーソンであるみなさんにも、混沌としたこれから時代をしっかりととした目を持つて進んでいいただきたいと思います。

すべての専門知を自分で持つことは不可能ですし、そんな必要もありません。しかし、自分の知らないことについて、どこに行つて調べ、誰に聞いたらよいかを知つていなければなりません。そして専門知を持つ人々と協力し、対話できるだけの知識は必要です。

よく「教養を身に付ける」といいますが、教養とは高価なアクセサリーで身を飾りたてるのではなく、その人自身の内面的な成長で魅力を増すことです。教養を得るには、ある程度の時間と努力が必要です。ビジネスの場面では、初対面の人には会う前に相手に合わせて、それとなく話題になりそうな知識を仕入れておくことがあるでしょうが、そんな付け焼き刃はすぐに見抜かれてしまうものです。簡単に入手した情報は「1週間で痩せる魔法の薬」と同じで、あまり役に立ちません。実際に汗を流して努力を続けてしっかりした体力や筋肉をつけるように、教養も継続的な時間と努力が欠かせ

学びの基礎代謝を上げる

もりもとあんり ●国際基督教大学教授。プリンストン神学大学院博士号(組織神学)取得。国際基督教大学学務副学長、日本私立大学連盟教学担当理事者会議幹事会委員長などを歴任。著書に『反知性主義』(新潮選書)、『異端の時代』(岩波新書)など。

ません。

そして、いつたん自分で学ぶこと

のおもしろさを知った人は、その後も学び続ける姿勢が自然と備わりま

す。一つの問い合わせを生み、次々に深掘りしたくなる。自分の内にそういうエンジンを備え付けることができれば、いつの間にか基礎代謝が上がり、体形も体力も向上して、自分に自信が持てるようになります。たじろがず正面から向き合つことができるようになるでしょう。

私もビジネスパーソン向けのリベルアルアーツ講座の講師を務めることがあります。将来、経営を担うことを見据えているマネジメントや役員クラスの方が参加されます。その内容は歴史的、文明論的視点から世界の構造を見極め、日本の問題点や強さを洗い出すのです。それに

よってリーダーシップを育てるのです。そこで学ぶ内容はまさに高度な教養。世界の宗教、歴史、倫理、AI（人工知能）などの最新の一ツや

国際情勢、政治などです。まさに今回の特集でみなさん学ぶことにも近いテーマかもしれません。どんなに最先端の技術や資金があつても、そうした教養がなければ、さまざま危機的局面において正しい方向にリーダーシップを發揮することは難しいでしょ。

これからは考え方や価値観が似ている人ばかりでなく、多様なバックグラウンドを持つ人と協力していくなければ、社会的問題もビジネスも進んでいかない時代です。教養は、互いを理解して協働するためには、不可欠なのです。

異なる意見でも対話する

教養を深めるためには、自分と違うものの考え方や背景を持った人と出会いと対話が不可欠になります。それまで自分が当然だと思い込んでいたことが、ほかの人にはまったく通用しない、という体験をすると、思考の体幹が鍛えられます。

さらに、対話によって、相手のこ

とだけではなく、自分のこともよくわかるようになります。自分はなぜ

そう思っていたのかを振り返り、相手にわかる言葉で説明する能力が養われるからです。

対話には、お互いへの敬意と礼儀

も大切です。「教養とは、気分を害さず、自信も失わずに、人の意見を聞く能力のことだ」と言った人がいます（アメリカの詩人、ロバート・フロスト）。どんなに優れた知性があっても、礼節を欠いた人を「教養がある」とは言わないでしょう。教養は、知識の多寡だけで決まるものではありません。自分の考えを整理して要点を説明し、他人の考えを取り入れて評価し、お互いにもう一段高いところへ進む——こういう積み重ねが役立ちます。

変化の激しい社会を乗り切るには、自分への投資が必要です。就労年限の長期化という傾向からすると、これからはジョブもキャリアも新しい挑戦をする機会が増えるでしょう。思い切った方向転換をしようとするなら、学び続けることを止めてはいけません。

教養に近道はありませんが、注いだ努力は必ず報われます。



教養は、学び続け 人と対話することで 内面から 身に付けるもの

コロナ時代の教養10選／ESG投資オススメ銘柄9

PRESIDENT WOMAN Premier

プレジデント ウーマン
プレミア

2020年9月28日発行・発売
(3月、6月、9月、12月の各28日
発行・発売) 第6巻第4号

秋号 | 2020
AUTUMN
900yen

1 経済
パンデミック後の
世界はどう変わるか

2 歴史
感染症＆バブル崩壊後の
「経済再興」とは

3 マネー
「ESG投資」の
キソ＆オススメ9銘柄

4 IT
リモート時代の、
「デジタルリテラシー」

5 哲学
自分軸をつくるための
「哲学的思考法」……

女性リーダーたちの
タイム
マネジメント
新常態

変化に強い女になる！

ポストコロナ時代に
役立つ教養10

寄付から始める、
私たちの社会貢献